

ドイツのスポーツ事情

失敗しても「ドンマイ」

文京シビックセンター
26階のスカイホールで昨
年12月19日、日本体育大
学の波多腰克晃先生にド
イツのスポーツ事情につ
いて取材しました。

部活よりクラブへ

僕はドイツの中学校や高校の部活動が日本とどのように異なるのか質問しました。そもそもドイツには部活動という概念がなく、放課後は地元のスポーツクラブで運動しているとのことでした。日本と違って仲間とのつながりも緩やかなのに、どうしてそのようなシステムが維持できるのだろうかという疑問に思いました。

【高3／編集サポーター・佐々木海夏翔】

勝ちにこだわらず

多様な国に興味を

波多腰先生のお話を聞いて、私が想像したことのないドイツの姿を知りました。例えばドイツの学校は午前中で終わって、午後はスポーツクラブなどに行くこと。国が違うから学校の時間は違うとは



波多腰先生の話をお聞きする様子

いえ、まさか午前中で終わるとは思いませんでした。ドイツについては他の取材などを通して、かなり知っている方だと考えていたのですが、知らないことが多かったです。話を聞けば聞くほど、知らないことが出てくるので、いろいろな国を知ることはいいいことだと思いました。

波多腰先生は「東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まっていますが、外国の新たな文化を受け入れることで、いろんなことに興味を持つことが大事」と言っていました。これからもいろいろな国に興味を持ち、いろいろなことを学びたいです。

【中2／横井千佳】

楽しむのが大切

ドイツ人のスポーツへの取り組みで興味を持ったことが3点あります。①どうしてドイツでサッカー

ーが人気なのか？②ドイツ人の考え方③日本選手のいいところ。先生の話を聞いて理由がわかりました。①はサッカーはボール一つででき、お金がかからず手軽でやりやすいからです。②はスポーツは楽しいという考え方が、ドイツの社会を支えており、また、スポーツの考え方に多様性があるからです。2022年冬季オリンピックと24年オリンピック開催都市の立候補に、住民投票で半数以上が反対しました。財政難だから、そのお金を障害がある人のスポーツセンターに使った方がいいという意見が多かったのです。③は指導者の意見を学ぶという態度や、聞く姿勢がいい、新しいことを吸収したがるところが素晴らしいです。年齢や障害の有無にとらわれずにみんながスポーツを楽しむことが大切と感じました。

【小4／松田隆之介】

努力した子を優先

日本体育大学の波多腰先生は自身のドイツ留学の経験を話してくださいました。

波多腰先生が小学生のソフトボールの試合を見学したときのことで打たなければ負ける、ここで打てば勝てる、という勝負どころで、現地の先生は上手な子を使わないのだそうです。重要なところでは努力している子を出していました。そして、その子が打てずに帰ってきて、皆、その子を責めないのです。落ち込んでいるその子を励ますのです。

私は時々、体育の授業などで、他の子が失敗するといらいらししてしまうことがあります。波多腰先生は、最初、「勝ちにこだわり過ぎない」と言っていました。ドイツの子も私たちは、「勝ちにこだわり過ぎない」

あるべき姿を教え

ドイツでは、野球は人気では下から5番目のスポーツです。準備が大変なためですが、人気を上げるために、勝ちにこだわるといことをあまりしません。いや、こだわりすぎないのです。あるべき姿を教えるため、「これなら勝てる」というときでも、あまり打てない子を出し、応援し、打てなくても励まします。そんなところから私は感動しました。私も、運動会などの勝ち負けのあることでも、運動が苦手な人も応援し、勝てなくてもクラスで励まし合いたいです。

【小5／谷口夏海】

試合の合間にパスタ

ドイツでは、スポーツの人気ランキング1位がサッカーです。野球は下から数えて5位であり人気がありません。サッカーのほうが道具も少なく、手軽にできるからだと思います。ブラジルでは、空手が人気で

す。それぞれの国で好きなスポーツが違うことを知りました。

また、日本の選手は試合の合間に、おにぎりを食べたりしますが、ドイツではパスタを食べるそうです。オリンピックやパラリンピックでは、ドイツの選手が食べているものも、注目したいと思います。

ドイツの小学生は、午前中に学校が終わります。そのあとは、たくさん宿題をしたり、スポーツをしたりする時間があります。早く帰るのはいいのですが、給食が無いのは残念です。でも、自分がやりたいスポーツをしっかりやるのは素晴らしいです。

【小4／野間裕貴】

授業は午前中で終了

ドイツで1番人気のスポーツはサッカーで2番目はテニス、3番目はハンドボール、野球は下から数えて5番目で人気が無いそうです。波多腰先生はドイツの学校で野球を教えたことがあるそうです。学校は午前中で授業が終わり、部活と給食は無く、帰宅して課題をしたり、スポーツクラブでスポーツをしたりするそうです。午前中で授業が終わるのはうらやましいです。ドイツの学校へ行ってみたいと思いました。【小4／豊島悠太】



ジャーマンポテト作ってみた

いなと思ひながらむきました。炒めるのは楽しかったです。ジュースとよい音がして、ベーコンやバター、調味料のおいしそうな匂いがしてくるからです。

ジャーマンポテトは、短時間で簡単にできておいしいです。私は途中、何度も「味見」と言っていました。【小6／水島希】

私はドイツゆかりのジャーマンポテトを家で作りました。写真。昨年12月に学校の調理実習で作ったものです。

作り方は簡単。じゃがいもを一口大に、玉ねぎは薄く、ベーコンは2センチ幅にそれぞれ切ります。じゃがいもを2、3分ゆで、玉ねぎ、ベーコンと一緒に炒め、塩、こしょう、粉チーズなどで味付けして、お皿に盛り付けます。シンプルですが、我ながらおいしくできました。

じゃがいもの皮を包丁でむくのはたいへんでした。皮が厚くなり、もったいな